

1万5,000の投票用紙がフロリダで突然、現れる：知事は調査を命令

カウントされていない数千の不審票が忽然と現れ、司法機関の調査が始まる

【訳者注】これは一読して、不正選挙とか詐欺とかいう段階でなく、堂々たる選挙破壊というべきであろう。こういうことがフロリダだけでなく、多少とも各地で行われたのだとしたら、先日の中間選挙は無効であろう。その前のキャバノー判事告発事件における民主党の、キャバノーを強姦魔とする強引な意志と変わらないものを、ここにも感じないだろうか？

この記事の載っていた、同じ日の関連ニュースだけでも数項目あるが、中でも特記すべきは、「ソロスの援助による複数グループが、リック・スコット知事に対し、フロリダの票數え直し要求を取り下げよと要求」というもので、これなどは、まさにソロス暴力団の脅迫にほかならない。残りの関連記事のタイトルを列挙しておこう：――

- ・「トランプが、役員たちの選挙盗み計画を非難するに及んで、フロリダ州で票數え直しが始まる」
- ・「フロリダ選挙の役員が、裁判所による裁定に基づいて緊急公聴会を要求」
- ・「選挙詐欺：ブレンダ・スナイプスが投票を破壊、外国人や重罪犯に投票を許可」
- ・「有権者詐欺集団の9人のメンバーが、テキサスの境界の町で逮捕される」

Jay Greenberg, www.neonnettle.com

November 10, 2018



1万5,000の謎の投票紙が現れ、Rick Scott知事は調査を命令

選挙の結果が次々に入って来つつあったとき、フロリダ州の共和党知事リック・スコットは、現職の民主党上院議員 Bill Nelson に、自分がわずかの差で負けたことに、呆然としていたようだった。

ところで、このことは、多くの人々にとって、それほどの驚きでもなかったかもしれないが、1万5,000のカウントされていない票が——アメリカでも最も不正の多い地域の一つで一まるで魔法のように突然、現れたのだった。

この奇怪な出来事でも特に驚くべきことは、党の役員たちが、法に反することをするからという理由で、開票中は、郡の役員たちによって、入室を禁じられたことである。

スコット知事は、1万5,000の新しく出てきた票は、パームビーチ郡で発見されたもので、これは不可解なことだと言った。

追加分の7万8,840票は、ブローワード郡では、投票が締め切られた後に、カウントされていると、WFTS-WVは報じた。<https://www.abcactionnews.com/news/state/governor-rick-scott-suing-2-florida-counties-over-ballot-counting-says-thousands-unaccounted-for->

Western Journalによれば、スコット知事は、この投票数操作について訴訟を起こした。<https://www.westernjournal.com/ct/15000-ballots-magically-appear-fl-gov-scott-orders-law-enforcement-investigate/>

彼はまた、知事としての職権を用いて、フロリダ司法省に対し調査を命じた。

あるスピーチで、スコットは、選挙の夜以来、自分のリードが縮小していったことを指摘した。

これが疑わしいものである根拠は、新しい票が次々に現われたことだ、と彼は言った。

「選挙の夜に、ブローワード郡は、投票総数が63万4,000だと言った。今日の午前1時には、選挙当日の投票数が、69万5,700になっていたのだ」とスコットは、訴訟を通告するスピーチで言った。

「今日の午前2時半には、選挙当日に投じられた票数は、70万7,233にまで増えていた。

「そして我々の知らされたその数は、71万2,840という数字になっていた。

「パームビーチ郡では、1万5,000の新しい票が、選挙の夜以後に発見された」と、彼は続けた。

「そこで、投票所が閉まってから48時間以上たっているのに、ブローワードとパームビーチ両郡では、いまだに票数を数えているのだ。そして監督責任者の Brenda Snipes と Susan Bucher は、どれだけの票がまだ残っているのか、それはどこから来たものか、またはどこにあったものかを、言えないようだ。」

もし読者が、ブレンダ・スナイプスという名前を憶えておられるなら、そうもあろうと思われるだろう。

彼女の名は、Debbie Wasserman Schultz 議員の疑惑に関わる訴訟で、最初に現れたもので、そこで彼女は、投票を不正に打ち壊したことを認めている。

<https://www.westernjournal.com/ct/judge-unlawful-destruction-of-ballots-in-race-wasserman-schultz-won/>

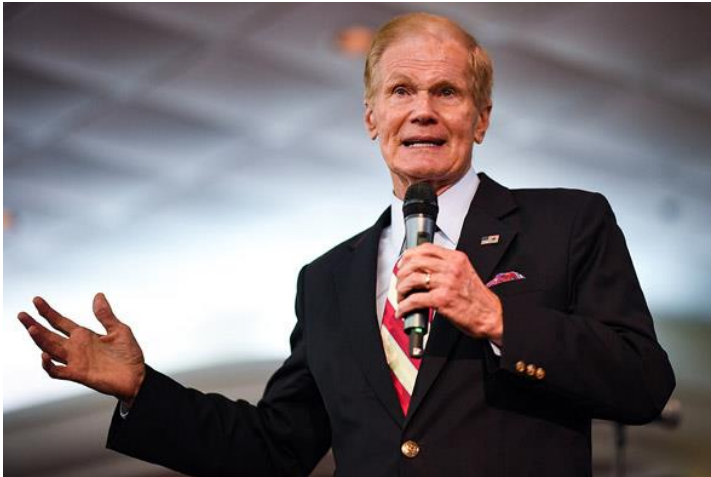
「フロリダのすべての人々は、パームビーチとブローワード両郡で、無法な詐欺が行われている可能性に関心をもつべきだ。そしてブローワードの選挙監督者ブレンダ・スナイプスは、不正行為を行った経歴をもっていることを知るべきだ」と、スコットは言った。

その2016年の訴訟に加えて、スナイプスの記録には、更に別の問題があることを、スコットは指摘した。

「2016年には、ブレンダ・スナイプスの事務所は、投票所が閉まる1時間半も前に、選挙結果をネット上に発表し、選挙規定を破った。同じ年に、彼女の事務所は、投票に関する違法行為で訴えられた」と彼は言った。

「2014年には、ブレンダ・スナイプスの仲間の民主党員たちが、彼女を訴えたが、それは彼女が、投票者が通常の投票を行うことを困難にする、個人的な全身の病気をういたというものだった。

「すべてのフロリダの住民は、そのことを念頭に置かなければならない。」



偶然の一致？ 1万5,000の投票用紙が突然あらわれたのは、民主党のビル・ネルソンが敗色濃厚になったときだった。

そしてそれは**ブローワード郡**という一部だけのことである。

<https://www.westernjournal.com/ct/broward-county-dems-secret-room/>

パームビーチ郡でも、事情はあまり変わっていない。

「この郡もまた、一般大衆に情報を与えることを拒否している」とスコットは言った。

「彼らは、公的な党の代表が、票カウントの近辺に入ることを拒否し、人々にはガラスの壁の背後に立つように強制し、何が起きているのか、一部しか見えないように、音は何も聞こえないようにしたのだ。

「これは明らかなフロリダ州法違反で、我々は訴訟を起こしたところだ。」

この記事が、南フロリダで起きていることに、何か影響を与えるか否かは、この時点では、何も予想することはできない。

しかし、現職の知事や、上院選挙レースに現実に関わっている者が、投票不正行為詐欺を公言するのはまれなことである。

だが、南フロリダのこれまでの歴史と、やがて行われる再カウントを考えるなら、これはあらゆるフロリダ住民が深く関心をもつべき問題である。

——以上